



特別支援教育の視点 ~徹底的に「支える」指導~

＜目指す子ども像＞

- 自立（自律）に向かって今を頑張り、互いを尊重しながら高めあえる人間関係を構築する生徒
- 「マナー」、「モラル」、「ルール」が守れる生徒
- 「自己肯定感」、「目的意識」、「道徳的判断力」をもった生徒
- 一人ひとりの多様性を理解し「つながり」を大切にできる生徒

＜目指す教職員像＞ ※2点目はHP用からは割愛

- 教育目標の達成に向け、工夫・努力する教職員
- 特別支援の視点を土壤にすべての生徒を「支える」教職員（「させる」ではなく「支える」教育）
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的で対話的な深い学び」を実現するため授業改善を続ける教職員
- チームとして協働し互いに高めあえる関係の教職員

＜目指す学校像＞

- 生徒、保護者、地域から信頼される「安心・安全」が担保された学校
- 生徒が「行きたい」と思える学びや育ちがある学校
- 小中9年間の学びのため「積極的に共有・協働」をする学校

互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成

「自立（自律）」と「尊重」と言い換えて

自立（自律）

「自立（自律）に向かって、今を
しっかりと頑張ることができ
いるだろうか」、「それって自立
に向かっての行動といえるだ
ろうか？ 未来の自分を支える
行動なんだろうか」

尊重

「尊重し、高め合える関係を築
くことができているだろう
か」、「それって尊重している行
動っていえるんだろうか？」



徹底的にこの発問を繰り返し、
人を尊重し、人に感謝し、

未来の自分のために今を頑張れる子を
教職員一丸となって育てます。



勧修小・小野小・勧修中